

**実践1 広く豊かな心の育成 内容一致型**

**本実践のポイント**

<教材化について>

- ・ 異性を意識することで態度を変えてしまうことのおかしさを明らかにするために、係活動決めという身近な素材を使って、課題解決の切実感をもたせる。

<活動構成について>

- ・ 自分らしさが発揮できるようにするために、2つの立場に分け、自分の考えを文章化させる。それぞれの立場から考えを交流させることで、お互いの考えを大切に主体的な判断ができるようにする。

**第6学年 道徳 「係活動決め2 - (3)」**

主眼 異性に対する自分の言動について、考えを発表し合い、性別によって言動を変えることのおかしさに気付けるようになる。

<【つかむ】段階 自分たちの実態を見直し、課題をつかむ活動>

1 朝の運動の様子のVTRを見て、感想を話し合い、めあてをつかむ。

- ・ 男女別々に運動している
- ・ 男子だけ女子だけで集まっている

性別で、区別する心について考えよう

2 自作資料「係活動決め」の話を知り、自分の立場を決める。

<話のあらすじ> 自分のなりたい係の定員は3名。希望しようとしたら、異性の2人が希望した。自分は、希望するかどうか？

考えを明らかにし、立場を決める。 ・希望する ・希望しない

<【つくる】段階 2つの立場から交流し、考えをつくる活動>

1 2つの立場の考えを出し合い、交流する。

2 今までの経験を想起する。

- ・ 生活班で、女子一人だけど、困らなかった。
- ・ 図工の班制作で、男子は一人だったけど、普通だった。

＜【ひろげる】段階 自分たちの姿を客観的に見直す活動＞

1 修学旅行のときに、男女が協力している  
VTRを見る。

2 本時の学習の感想を書き、交流する。

＜子どもの感想＞

- ・ 冷やかされるのが嫌で、男女で区別していたので、お互いに冷やかさないようにすることが大切と思う。



男女協力しての話し合い

**成果と課題**

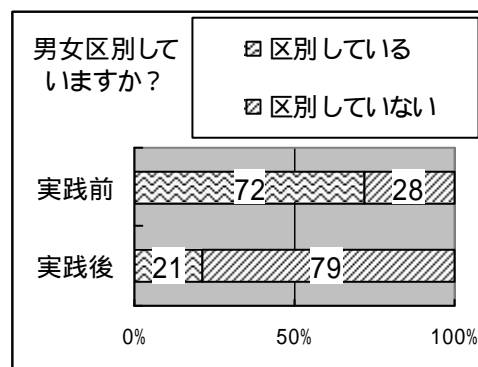
今回の実践を終えて、次のような子どもの感想があった。

今日の学習の最後で見た修学旅行のビデオで、男女が協力していました。男女仲良く活動することは、悪いことじゃないんだなと思いました。私は前まで、係決めの時、男子があまりいない係ばかりを選んでいました。でも、これからは、男子がいても、自分になりたい係になって、男女仲良くやっていきたいと思いました。(A子)

この感想から、子どもは、男女仲良く活動していくことと、異性・同性に関係なく、自分のやりたいことに取り組んでいこうとする考えをもっていることがわかる。また、右の事後調査のグラフからもわかるように、男女関係なく活動している子どもが大幅に増えてきている。

教材化については、係活動という身近な素材を使い、異性に対する自分の言動を振り返らせたことで、性別で言動を変えることのおかしさに気付かせることができ、上の感想のように、自分のになりたい係を選び、男女仲良くしていこうとする思いをもたせることができた。

活動構成については、2つの立場に分け、自分の考えを交流させたことで、一人ひとりが自分の考えを確実にもつことができ、それぞれの立場からの考えが活発に出された。それにより、「冷やかされる」ことについては、「冷やかす人が悪い」というように、子どもたちから、主体的な判断を導き出すことができた。



## 実践2 性差の認識の育成 内容新規型

### 本実践のポイント

#### <教材化について>

- ・ 就業機会における男女平等の実態を追求させ、職業における性差意識の解消を図るために、女性宇宙飛行士の向井千秋さんを導入において教材化する。

#### <活動構成について>

- ・ 自分の追求したい仕事の“向井さん”を決め、電話取材や訪問などの自分なり方法を工夫して探し出すことで、子どもの思いを大切にし、主体的な判断ができるようにする。

### 第4学年 チャレンジタイム 「身近な“向井さん”を見つけよう」

#### 目 標

社会的役割において、女性・男性には、違いがほとんどなくなっていることを感じ取り、調べたことをわかりやすく伝えることができるようになる。

#### <【つかむ】段階 実態調査から課題をつかむ活動>

##### 1 実態調査をもとに課題をつかむ。

- ・ 男女別のなりたい仕事の調査結果の提示から、男女に違いがあることを知る。  
宇宙飛行士の写真を見て、向井千秋さんが活躍していることを知り、課題をつかむ。

|    | 女子   | 男子     |
|----|------|--------|
| 1位 | 保育士  | 大工     |
| 2位 | ケーキ屋 | 医者     |
| 3位 | 花屋   | スポーツ選手 |

身近な“向井さん”を見つけよう

#### <【つくる】段階 「向井さん」を見付ける活動>

- 1 調べたい仕事別にグループを編成する。
- 2 グループごとに「向井さん」を見付ける。  
<調べ方> 電話帳で探す。実際に訪問し探す。など
- 3 「向井さん」に質問し、考えをつくる。  
・なぜなったのか ・大変なこと、良かったことなど
- 4 調べたことをポスターセッションに向けてまとめる。

##### 調べた仕事先

- ・ 男性の花屋、ケーキ屋、看護師、保育士など
- ・ 女性の消防士、警察官、大工、運転手、市長など

<【ひろげる】段階 調べたことを広げる活動>

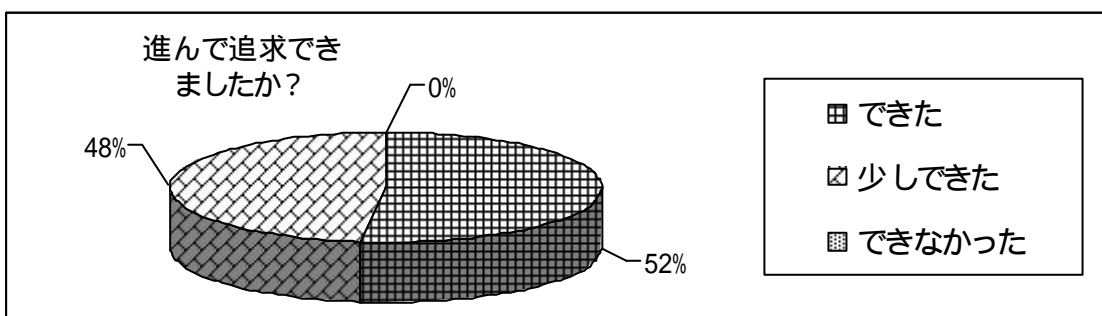
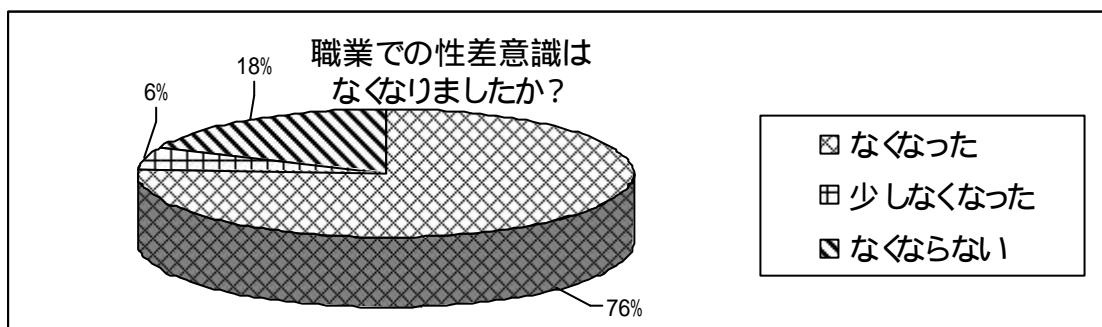
- 1 ポスターセッションをし、互いに調べたことを聞き合う。
- 2 自分の考えの変容をまとめる。
  - ・最初、男性の看護婦さんなどおかしいと思っていたけど、実際に会って質問したりしたらいてもおかしくはなくなってきた。



ポスターセッション

### 成果と課題

今回の実践で、子どもたちは、男女関係なく協力して、“向井さん”を見付けることを意欲的、そして、ねばり強く取り組んだ。



実践前は、男の看護師や保育士がいたら、“おかしい”とか“変だ”という思いをもっていたが、実践後の感想では、“がんばって欲しい”とか“もっと増えて欲しい”というものになった。

教材化については、職業における性差意識を解消するために、自分の身の回りの仕事や関心のある仕事で“向井さん”を探すように教材化したことで、82%の子どもが性差意識が解消している調査結果になっている。

活動構成については、自分の調べたい職業を選択させ、自分なりに工夫した追求をさせたことで、全員の子どもが意欲的に、主体的に“向井さん”探しに取り組むことができた。

## 実践③ 生活に生きる実践的態度の育成 内容付加型

### 本実践のポイント

<教材化について>

- ・ 子ども一人ひとりが自由な発想で、「わたしの \_\_\_\_\_ 」という思いをもって表現できるように工夫する。

<活動構成について>

- ・ “おひさま”という題材に対する思いを大切に、思う存分、絵をかけるようにするために、絵本の読み聞かせをした後に、そのイメージを大切に描かせ、作品を鑑賞し合わせる。

### 第1学年 図画工作 「わたしのおひさま こんなかんじ」

#### 目 標

自分の思いを大切に“おひさま”を表現し、作品を鑑賞し合い、絵には、男女に違いがないことを感じる。

#### <【つかむ】段階 自由な絵の具遊び活動>

##### 1 絵の具の使い方を聞き、本時のめあてをつかむ。

えのぐとふでで、たのしいさんぼをしよう

##### 2 いろいろな筆の動かし方を試してみる。

- ・ ぐるぐる
- ・ まっすぐ
- ・ てんてん
- ・ なみなみ
- ・ ぎざぎざ

##### 3 お互いの作品を見せ合う。



いろいろな筆遣い

＜【つくる】段階 「おひさま」を表現する活動＞

- 1 絵本の読み聞かせから、めあてをつかむ。

わたしの「おひさま」をかこう

- 2 絵本からのイメージを話し合う。

- ・ 大きく笑っている
- ・ あかい
- ・ ぎらぎら
- ・ ぼかぼか

- 3 自分のイメージのおひさまをかく。



イメージを表現

＜【ひろげる】段階 作品を鑑賞し合う活動＞

- 1 誰の作品かあてっこすることで、めあてをつかむ。

- 2 グループごとに、おひさまをしょうかいする。

- ・ 友達の作品について感想を話し合う。

- 3 全員の作品を見て、作品の違いを味わう。

- ・ 男女関係なく、元気な絵がある。
- ・ 絵には、男女関係ない。



作品の鑑賞会

## 成果と課題

今回の実践で、子どもたちは、「おひさま」に対して、イメージを膨らませ、男女関係なく自由な発想で、おひさまの絵を表現していた。その結果、「おひさま」の絵では、形にとらわれずに、一人ひとりの個性が光った作品ができあがった。また、鑑賞会の場面では、お互いの絵から誰の作品かを当てっこして、絵には、男女関係ないことを感じ取らせることができた。

教材化については、「おひさま」という素材から、男女関係なく各自がもっているイメージを表出させた作品を鑑賞させることで、絵において、性別は関係なく、自分の個性を伸ばしていかなせることができた。

活動構成については、絵の具遊び活動をつかむ段階で仕組み、つくる段階で、絵本の読み聞かせによるイメージを膨らませる活動を仕組んだことで、それぞれの思いを大切に、思いっきり表現させることができた。